

# 日本熱帯農業学会 第204回研究集会

## ヤムイモ研究セミナー



ヤムイモは西アフリカ地域の食料として重要な作物であるが、この重要性がアフリカ以外の地域では適切に認識されておらず、長い間、研究の対象とされてこなかった。今後増え続ける人口を支えるためにもヤムイモのようなマイナーな作物の増産研究が重要であり、国際的な研究ネットワークの構築が問題解決の鍵となる。

3月8日・9日で東京農業大学にてヤムイモワークショップが開催される。本研究集会では、そこで議論された世界各地で実施しているヤムイモ研究の概要を集約し、代表者により共通課題や問題を提示し、国際的な共同研究がマイナー作物の増産にどのように貢献できるかについて議論・提示することを目標とする。

### 講演内容

1. **Yam agronomy and physiology (ETH etc.)**
2. **Yam research in West Africa (CRI, IITA)**
3. **Yam physiology and breeding (CIRAD)**
4. **New finding in yam research: N Fixation bacteria (Tokyo Nodai)**

\*内容と発表者の変更の可能性がありますので、ご了承ください。

日 時: 2018年3月11日 13:00~15:00

会 場: 玉川大学 大学教育棟2014 5階 (東京都町田市玉川学園6-1-1)

主 催: 日本熱帯農業学会

後 援: 飯島藤十郎記念食品科学振興財団、SAEDA、東京農業大学

問い合わせ: [h3kikuno@nodai.ac.jp](mailto:h3kikuno@nodai.ac.jp) (菊野日出彦、東京農業大学)